

# 住まいの快適ランク

## 暖かさ

**希望** 「真冬でも軽装で暮らしたい」

**おすすめ** **Aランク**

※Aランクとは:外気温がマイナス10℃以下になっても肌寒さを感じない

**希望** 「真冬はやや肌寒いくらい気にしない」

**おすすめ** **Cランク**

※Cランクとは:外気温が-10℃程度になると肌寒くなる

## 結露

**希望** 「窓の結露は絶対イヤ！」

**おすすめ** **Aランク**

※Aランクとは:-15℃程度まではほとんど結露しない

**希望** 「水がたれるほどでなければ気にしない」

**おすすめ** **Cランク**

※Cランクとは:朝カーテンを開けると窓の下部に結露

## 省エネ

**希望** 「近所に自慢できるほど安上がりでしかも快適」

**おすすめ** **Aランク**

※Aランクとは:札幌など道央・道南で灯油1,000ℓ、道東・道北で1,200ℓ、本州で800ℓ以下(40坪全室暖房での概算)

**希望** 「平均的だが自慢できるほどではない」

**おすすめ** **Cランク**

※Cランクとは:札幌など道央・道南で灯油1,400ℓ、道東・道北で1,700ℓ、本州で1,200ℓ以下(40坪全室暖房での概算)

## シック ハウス

対応

**希望** 「子供が鼻炎なので十分注意したい」

**おすすめ** **Aランク**

※Aランクとは:一般的な家庭では問題なく生活できる

**希望** 「過敏症の家族がいる」

**おすすめ** **特Aランク**

※特Aランクとは:個別で過敏症気味の方に対応するフルオーダーメイド仕様

## 耐久性

**希望** 「子供たちが家庭を持っても間取りを替えて暮らせる」

**おすすめ** **Aランク**

※Aランクとは:建物の性能・構造面だけでなく、間取りをガラッと変えられる

**希望** 「少なくとも40年以上は快適に暮らしたい」

**おすすめ** **Bランク**

※Bランクとは:建物の性能・構造面の耐久性はヨーロッパ並み。設備更新は必要

### 性能測定値

気密性能

相当隙間面積

cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>

機械換気量

1時間当たり

回/h

## 5つの快適指標とランクの内容（提案書2）

	特Aランク	Aランク	Bランク	Cランク	Dランク
基本仕様		次世代省エネ基準※ <sub>1</sub> 以上	次世代省エネ基準※ <sub>1</sub> レベル	新省エネ基準※ <sub>2</sub> レベル	気密性・結露防止に難あり（技術不足）
暖かさ		とても快適	快適	普通	不快
特記仕様		気密：1㎤/㎡以下、 窓：トリプルLow-E以上、 セントラル暖房	気密：1㎤/㎡程度、 窓：アルゴンLow-E程度、 セントラル暖房	気密：2㎤/㎡程度、 窓：Low-E、 暖房：熱源4ヵ所程度	気密性能が悪い（3㎤/㎡以上） 建材類の仕様はCランクと同じ

ポイントとなる性能：Q値※<sub>3</sub>、気密性、開口部断熱、セントラル暖房

	特記仕様	ほとんどなし	たまに発生	ときどき発生	いつも結露
結露		気密：1㎤/㎡、 窓：トリプルLow-E以上、 セントラル暖房・換気(0.5回/h以上)	窓：アルゴンLow-E、 セントラル換気(0.3~0.5回/h)	換気：0.3回/h以下 (システムの力不足などにより、設計通りの換気量を確保できない)	断熱・気密・換気不足 建材類の仕様はCランクと同じ

ポイントとなる性能：気密性・開口部断熱・セントラル暖房・換気回数。㊦：室内で発生する水蒸気の量により結露がひどくなることがある

	限りなくゼロエネ	非常に経済的	かなり経済的	標準的	かなり悪い
省エネ		1.2W 気密：1㎤/㎡、 窓：トリプルLow-E以上、 低温暖房	1.4W 次世代基準の公庫仕様	1.74W 新省エネ基準の公庫仕様	2.0W 気密性能が悪い 建材類の仕様はCランクと同じ
Q値 特記仕様	－（個別設定） 太陽光発電や太陽熱温水器などの自然エネルギー利用、排熱回収暖房・給湯などの複合技術				

ポイントとなる性能：Q値、気密性・開口部断熱。㊦：Q値の次世代省エネ基準値は1.6W。エネルギー消費は暖房設定温度により最大30%程度変動する

	過敏症対応	普通は問題なし	やや心配	配慮不足	
シックハウス対応		建材：FC0相当以上、 0.5回/hの換気	換気：0.3~0.5回/h	建材：FC2相当もある。塗料などに配慮がない 換気不足	
特記仕様	建材の安全データを取り寄せ、個別に選定する				

ポイントとなる性能：換気回数と建材制限

	100年	50年	25年	
耐久性		結露防止工法+間取りの 可変性。設備更新、外装材にも配慮	結露防止工法	壁内結露の危険あり 使用建材類はBと同じ 技術不足
特記仕様				

ポイントとなる性能：気密・結露防止工法ができていないか、間取りの可変性があるか

別表1 次世代省エネ基準に対応する標準的な仕様（北海道・I地域）

部 位	在来木造充てん断熱	ツーバイフォー充てん断熱	在来木造・ツーバイ外張断熱
天井	グラスウール（GW）ブローイング（BW）300mm		
屋根	高性能GW16K265mm		押出B3種160mm
壁	高性能GW16K100mm+押出B3種25mm	高性能GW16K140mm	押出B3種85mm
	中間階の横架材部 押出B3種25mm		
床	外気に接する部分	高性能GW16K200mm B W 220mm	押出B3種110mm
	その他の部分	高性能GW16K135mm	高性能GW16K125mm
土間床等の外周部	外気に接する部分	押出B3種100mm	
	その他の部分	押出B3種35mm	
窓	プラスチックサッシLow-Eペアガラス		
気密性能	2㎤/㎡		
換気量	0.5回/h以上（機械換気+自然換気の合計値で）		

別表2 新省エネ基準に対応する標準的な仕様（北海道・I地域）

部 位	在来木造充てん断熱	ツーバイフォー充てん断熱	在来木造・ツーバイ外張断熱
天井	グラスウール（GW）ブローイング（BW）230mm		
屋根	高性能GW16K170mm		押出B3種121mm
壁	高性能GW16K100mm		押出B3種68mm
	中間階の横架材部 補強不要		
床	外気に接する部分	高性能GW16K135mm	押出B3種104mm
	その他の部分	高性能GW16K100mm	
土間床等の外周部	外気に接する部分	押出B3種60mm	
	その他の部分	押出B3種20mm	
窓	プラスチックサッシLow-Eペアガラス		
気密性能	5㎤/㎡		
換気量	基準なし		

### 基本仕様について

※1：次世代省エネ基準は別表1

※2：新省エネ基準は別表2

※3：Q値とは熱損失係数を指し、住宅の断熱性能を表す指標

©北海道住宅新聞社

複製してご利用下さい。内容変更して無断使用することは認められません。